

2017（平成29）年度

大阪大学医学部医学科

学士編入学試験問題

【小 論 文】

問題冊子

（注 意）

- 1 問題冊子及び解答用紙は、試験開始の合図があるまで開いてはいけない。
- 2 受験番号は、解答冊子の表紙及び各解答用紙の受験番号欄に左詰めで、正確に記入すること。
- 3 問題冊子は、表紙を除き3枚ある。ただし、1枚目、3枚目は白紙である。
- 4 問題冊子又は解答冊子の落丁、印刷の不鮮明等がある場合は、解答前に申し出ること。
- 5 解答は、解答用紙の指定されたところに記入すること。枠からはみ出してはいけない。
問題冊子に解答を書いても採点されません。
- 6 問題冊子の白紙は、適宜下書きに使用してよい。
- 7 問題冊子は、持ち帰ること。

【小論文】 1/2 ページ

以下の【資料】を読んで、下記の【設問】に答えなさい。

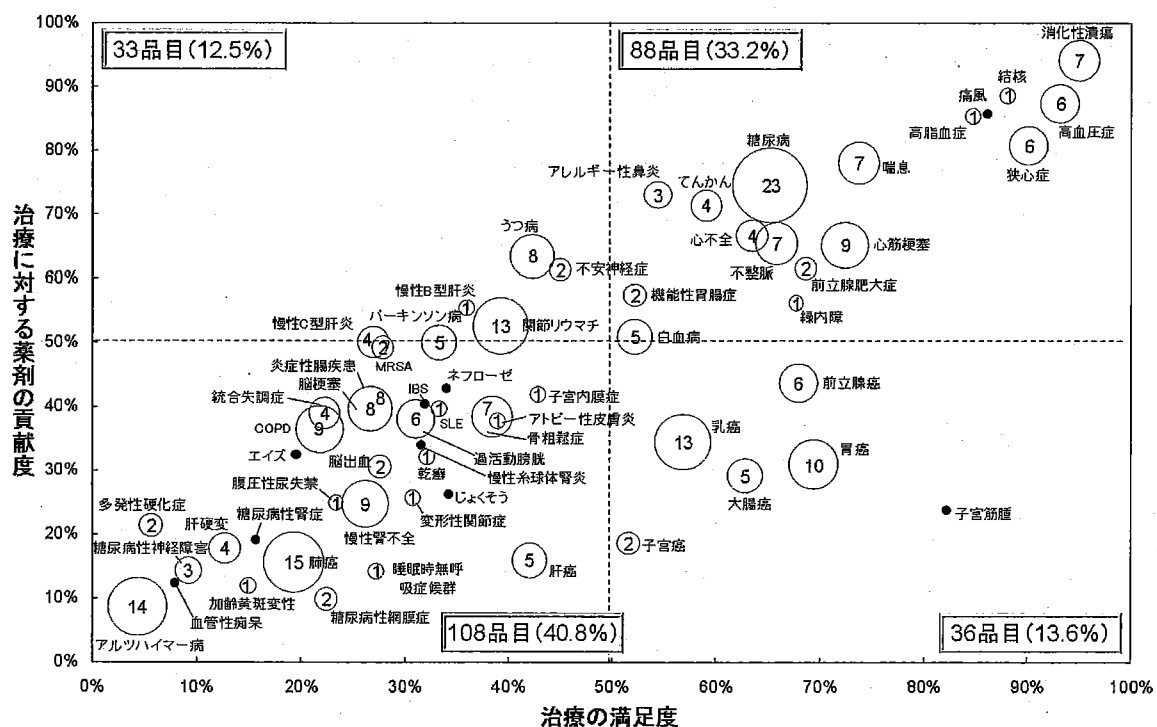
【資料】

公益財団法人ヒューマンサイエンス振興財団は、社会的に重要な 60 疾患に関する治療の満足度と治療に対する薬剤の貢献度について、医師対象のアンケート調査を定期的に行っている。このアンケート調査を踏まえて、医薬産業政策研究所は上記 60 疾患に関して、新薬の開発状況の調査を行っている。

図 1 は 2005 年の治療の満足度・薬剤の貢献度別にみた 2010 年の新薬開発状況、図 2 は 2010 年の治療の満足度・薬剤の貢献度別にみた 2014 年の新薬開発状況である。

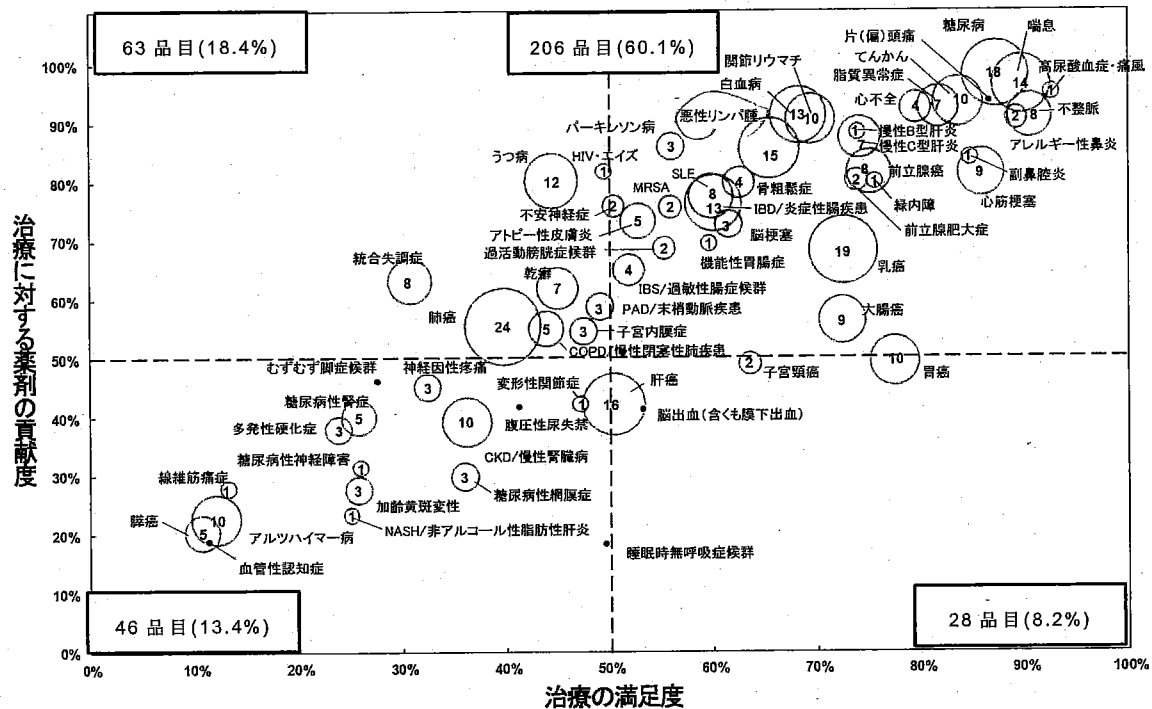
該当新薬の開発件数が円の大きさと数字で示されている。

図 1 治療の満足度・薬剤の貢献度（2005 年）別にみた新薬の開発状況（2010 年）



(続き)

図2 治療の満足度・薬剤の貢献度（2010年）別にみた新薬の開発状況（2014年）



(医薬産業政策研究所 政策研ニュースより引用改変)

【設問】

2005年の治療の満足度・薬剤の貢献度に比べて、2010年の治療の満足度・薬剤の貢献度が改善していることがわかる。一方で、治療の満足度・薬剤の貢献度の低い疾患において、新薬の開発が行われていないこともわかる。

新薬の開発を行う製薬会社のあり方を踏まえたうえで、新薬の開発を推進する上でのアカデミアの果たす役割について、あなたの考え方を述べなさい。(句読点を含めて1000字以内)